

2022年9月15日
逗子市教育委員会

逗子市立中学校で食缶式給食がスタートします。

逗子市立中学校では、令和4年9月21日(水)から、食缶方式による給食の提供を開始します。アレルギーがある生徒にも除去食の提供が可能になり、クラス全員で温かい給食を食べることができるようになります。

*食缶方式とは、調理した給食を「保温食缶(冷めずに保温できる容器)」に入れて提供する方式です。「温かいご飯や汁物、おかず」は温かい状態で、「サラダや和え物」は、適温で提供することができます。

●当日のスケジュール(予定)

- 12時40分・・・午前中の授業終了
- 12時45分頃・・・配膳開始。配膳終了後、給食開始
- 13時15分頃・・・給食終了、片付け開始

●当日の献立は、カレーライス・チキンカツ・マカロニサラダ・オレンジジュースの予定です。

当日は、市長が逗子中学校を視察する予定です。

取材をご希望される場合は9月20日(火)午後5時までに学校教育課へご連絡ください。

本件に関するお問い合わせ先：

教育部学校教育課 学校教育係
橋本・松田
電話：046-873-1111 内線514

【参考】

●これまでの経緯

逗子市の中学校では、平成 26 年 10 月から、生徒一人ひとりの給食をお弁当箱に詰めて提供する「ボックスランチ方式」による完全給食を実施してきましたが、おかずが冷たい、アレルギー対応が出来ていない等が課題となっていました。

今回、これらの課題を克服し、生徒全員が温かい給食を食べることができるよう、保温食缶という「冷めずに保温できる容器」に給食を入れて各学校へ提供する「食缶方式」へ変更するものです。

●これからの給食の運営について

- ・ 今回の食缶方式給食では、逗子市立 3 中学校分、最大 1,300 食の提供が可能です。
(逗子市立 3 中学校生徒数 1,116 人)
- ・ アレルギー食にも対応し、クラス全員が同じ給食を食べることが可能になります。
- ・ 給食調理配送に係る予算は、5 年間で約 4 億 7,900 万円です。
- ・ 市は給食センター等の整備は行わず、事業者が自社で調理した給食を各学校へ配送します。
- ・ 学校へのエレベーターの整備は行わず、生徒の手運びで配膳配食を行います。